

家保通信

Vol. 36 No. 9 12月号
東京都家畜保健衛生所

令和4年11月30日

かほクイ

①～③の伝染病の中で冬に流行する病気はどれでしょう？

- ①豚熱
- ②アフリカ豚熱
- ③豚流行性下痢

答えは裏面

今季も高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 嚴重警戒！

今シーズンは家きん、野鳥共にHPAIが多発しています。最新のHPAI発生状況は以下URL、QRコード(①②)からこまめに確認し、現状を把握願います。

10/28にHPAIが確認された国内1例目(岡山県)、2例目(北海道)の農場に係る疫学調査チームの現地調査報告が行われました。詳細は以下URL、QRコード(③④)のとおりです。農場近くのため池で野鳥の生息が確認されていました。

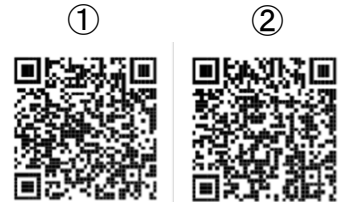
毎日の健康観察を行い、複数羽での元気消失、エサ食いが悪い、沈うつ、同一群での複数死亡、死亡羽数の急な増加などありましたら当所までご連絡ください。※早期発見・早期通報をお願いします！

引き続き飼養衛生管理基準遵守(特に以下の7項目)をお願いします！

- 1、衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 2、ねずみ及び害虫の駆除
- 3、家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- 4、家きん舎に出入りする者の手指消毒等
- 5、野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- 6、衛生管理区域に出入りする者の手指消毒等
- 7、衛生管理区域に出入りする車両の消毒

～令和4年度 鳥インフルエンザに関する情報について～

- ①農水省HP: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/220929.html>
- ②環境省HP: https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/



～HPAI発生農場における現地調査報告(農水省HP)～

③国内1例目(岡山県):

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/220929-19.pdf>

④国内2例目(北海道):

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/220929-20.pdf>



ショートメールサービス (SMS) による迅速情報発信！

今シーズンもHPAIが多発しており例年以上の警戒が必要です。そこで、HPAI等の発生情報を迅速・確実にお知らせするために、**鶏飼養者向けにSMSでの情報発信を実施します。**事例の詳細は農水省や当所のホームページのURLを記載しますので、確認ください。

※SMSの受信ができない方には、引き続き電話での情報提供を実施します。





鶏病抗体調査実施のお知らせ

12月より鶏の伝染性疾病の浸潤状況やワクチン効果を把握するため、標記調査を開始します。対象農場には、別途通知を送付しますのでご確認ください。また、同日に飼養衛生管理基準の遵守状況を確認しますのでご協力よろしくお願ひします。

今回の通知に、家保通信のメール配信に関するアンケートも同封します。
アンケートは、当所の職員が鶏病抗体調査時にお伺ひした時に回収しますので、事前の記入をお願いします。



銅中毒にご注意！

銅は、牛の繁殖成績や増体等に重要な作用を持つ必須微量元素です。抗菌剤の飼料添加が規制され、その代わりとして疾病予防や発育促進に効果があると報告されている銅や亜鉛を含む飼料添加物が普及しています。

その一方で、子牛は少ない用量で中毒を起こしやすく、全国で子牛の銅中毒事例の報告が増えています。風邪様の症状、血尿や黄疸(粘膜の黄色化)がみられます。サプリメント、飼料添加物を過剰に与えると中毒が起こることがありますので、適正量を給与しましょう。



農研機構動物衛生研究部門における防疫措置完了

11/19に国内85例目の豚熱発生が確認された東京都小平市の「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門小平海外病研究拠点」では、19日20時から防疫措置が開始され、同日21時に防疫措置（殺処分、畜舎消毒等）が完了しました。引き続き、飼養衛生管理基準の遵守をお願い致します。

※豚熱に関する最新情報は以下URL、QRコードから確認をお願い致します。

①農水省HP:国内における豚熱の発生状況について

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/domestic.html>

②農水省HP:野生イノシシに対する豚熱の検査情報

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

①




②



クイズの答え ③ 豚流行性下痢(PED)は年齢に関係なく、冬に発生が増加します。主な症状は水様性下痢です。主な伝播方法は感染豚の糞便を介した経口感染です。ウイルスは豚の移動、人の出入り、糞便に汚染された器具などによって伝播します。ウイルスを「持ち込まない・拡げない・持ち出さない」ため、飼養衛生管理基準の遵守が有効です。
※豚熱、アフリカ豚熱は季節に関係なく発生します。

発行日 令和4年11月30日

編集発行  東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL :042-588-7171

携帯 :090-6941-4315(緊急用)

